

自治体対応のための 水害ハザード情報整理の課題

鷺見 哲也¹

¹ 大同大学

E-mail: t-sumi@daido-it.ac.jp

話題提供というよりも、関係の方がおられればご議論いただきたい課題リストとして提示したい。

ここでは豪雨災害に限定するが、避難・物資供給・災害廃棄物などの自治体の災害時の対応の準備のためには、ある程度の想定が必要となる。実際には様々な規模の降雨があり、降り方も様々であり、一つの想定のみを前提として準備を行うことは危険である。

避難のための情報提示としては、複数のタイプの豪雨の想定（内水・外水）についてハザードマップ等で提示するなどの取組みも増えているが、自治体のアクションの想定としてのハザード情報とはどうあればよいか、また、様々な条件での情報を扱うことへの制約や、確率的な取扱い、詳細で精緻であるほどにかかるシミュレーションの作業の問題など、確率的取扱いから情報提供の実務面にかけて考えられる課題を挙げ、議論としたい。

キーワード：水害ハザード，自治体，避難